

申し入れ

2015年12月14日

福井県知事 西川 一誠 殿

「もう動かすな原発！福井県民署名」

福井県実行委員会

代表委員 大久保恵子 中畷哲演

山本富士夫 若泉政人

連絡先 916-0029 鯖江市北野2丁目14-21-2

ZIBA グリーンパワー「北野アートセンター」内

事務局 林 広員 090-8263-6104

高浜原発3・4号機の再稼働を認めないでください

2013年9月15日に関西電力大飯原発4号機が停止し、1年11か月の間、日本では「原発ゼロ」が続きましたが電力は足りていました。また国民世論の多数は原発の再稼働に反対です。しかし安倍政権は多くの国民の声を無視し、九州電力・川内原発の再稼働にふみきました。また全国で原発の再稼働を進めようとしています。福島県では、いまだ10万人以上が家に帰れず避難生活を送っています。放射能汚染水は、大気、大地、海洋を汚染し続けています。このように福島原発事故が収束されていない中で事故の原因もわからず、反省もなく、再稼働に突き進むことは3・11以前の「安全神話」の復活に他ならず絶対に許されません。

今年4月14日、福井地裁は高浜原発3・4号機運転差し止めを命じる仮処分命令を発令しました。差し止めの理由の中で「新規制基準はゆるやかにすぎ、これに適合しても本件原発の安全性は確保されていない」として、明快に新規制基準を否定しました。

しかし12月に入り高浜町長の地元合意表明や県原子力専門委員会のまとめを急ぐ様子、県議会での各派の意見のとりまとめの議会日程の設定など仮処分裁判・異議審の決定が出ていない中で司法の判断を無視して拙速に年内の「原発再稼働地元合意」に突き進んでいるような違和感を禁じ得ません。

私たちは、昨年より西川福井県知事に対して原発の再稼働を認めないでくださいと呼びかける「もう動かすな原発！福井県民署名」（以下県民署名）を県内17自治体で実行委員会をつくり運動と収集を続けてきました。対話を進めていく中で「子や孫の世代のことを思うと再稼働など許されない」「30キロ圏内の広域の避難訓練も無い中で再稼働など言語道断」などの声や多数の署名が県内はもとより県外や国外からも寄せられました。県民の生命と安全に責任を持つ知事は、この「県民署名」に込められた人々の声に真摯に向き合ってくださいと思います。

本日「県民署名」二次提出分を持参しました。合計29万8千筆を超えました。多くの県民の願いです。高浜原発3・4号機の再稼働を認めないでください

以上